

第128回教育研究会の報告(7/5開催)

「自律型社員をどう育てるか」

～成熟した経営環境で成功するための人材育成～

経済が右肩上がりの時代なら、言われたことを一生懸命にすれば成果が出たが、現在の成熟した経営環境では、従業員一人ひとりが、自ら考え自発的に行動する「自律型人材」に成長することが不可欠になっている。そのための人材育成をどうするかという視点から(株)レアリゼ代表取締役社長真田茂人氏よりご指導をいただいた。

人はどうやって自律するのか

人はいつでも、何処でも「**基本的欲求**」(①愛・所属の欲求②力・価値の欲求③自由の欲求④楽しみの欲求⑤生存の欲求)を満たすことを本能で求める。人は「合理的な理屈」＝正しいかどうかではなく、「欲求充足という理屈」＝欲求が満たせるか否かで行動する。欲求が満たせると思ったら(満たせるイメージが湧けば)、人は自ら動く。

部下指導は、一方的に考えを押し付けるのではなく、効果的な問い(質問)をし、考える機会を与え、「良い選択」をする能力を高めさせることが重要。



考えることで自分のイメージが出来、自律する社員が育つようになるなど、实例を挙げ、参加者が体験する方法も取り入れ、具体的な内容で参加者から好評であった。

後半、グループ討議で「ワールドカフェ」手法を用い、テーマに沿った意見交換を実施し、参加者全員から積極的な発言があった。

(注)「ワールドカフェ」とは、リラックスした状態で自由に意見交換をし、お互いの知恵を結集するグループ討議の手法。